

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-6	・地域間交流の推進

	課	
主管課・係	商工観光課	観光交流係
	総合政策課	地域振興係
関係課・係	総合政策課	企画政策係

### 【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①町民が郷土を住みやすく誇れる地域にするため、地域に埋もれた資源を発掘するとともに、地域間交流を進めることで、交流人口の拡大を目指し、定住人口を増やす。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①都市交流人口の増加</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 都市交流人口</td> <td>人</td> <td>67,471</td> <td>67,500</td> <td>73,208</td> <td>74,000</td> <td>74,000</td> </tr> <tr> <td>B ふるさと納税者数</td> <td>人</td> <td>525</td> <td>550</td> <td>648</td> <td>680</td> <td>※700</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 都市交流人口	人	67,471	67,500	73,208	74,000	74,000	B ふるさと納税者数	人	525	550	648	680	※700	C							D						
	単位			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A 都市交流人口	人	67,471	67,500	73,208	74,000	74,000																																			
B ふるさと納税者数	人	525	550	648	680	※700																																			
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ①大きく上回った</td> <td>さいたま市の少年自然の家利用者が大きく上回った。</td> <td>②このままで達成可能</td> <td>町民レベルの交流が広がることで、交流人口が図られる。</td> </tr> <tr> <td>B ①大きく上回った</td> <td>ふるさと納税に対する関心が広まったことや、返礼品の数を増やしたことによって効果が表れた。</td> <td>②このままで達成可能</td> <td>当初目標値を600と定めていたが、今後も返礼品の追加や、複数の掲載サイトと契約することで、露出を高めることができる。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ①大きく上回った	さいたま市の少年自然の家利用者が大きく上回った。	②このままで達成可能	町民レベルの交流が広がることで、交流人口が図られる。	B ①大きく上回った	ふるさと納税に対する関心が広まったことや、返礼品の数を増やしたことによって効果が表れた。	②このままで達成可能	当初目標値を600と定めていたが、今後も返礼品の追加や、複数の掲載サイトと契約することで、露出を高めることができる。	C				D																							
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ①大きく上回った	さいたま市の少年自然の家利用者が大きく上回った。	②このままで達成可能	町民レベルの交流が広がることで、交流人口が図られる。																																						
B ①大きく上回った	ふるさと納税に対する関心が広まったことや、返礼品の数を増やしたことによって効果が表れた。	②このままで達成可能	当初目標値を600と定めていたが、今後も返礼品の追加や、複数の掲載サイトと契約することで、露出を高めることができる。																																						
C																																									
D																																									
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互交流を進めるため、友好都市のイベントに参加し南会津町のPRを実施した。</li> <li>・ふるさと納税のインターネットによるPRに実施し、寄付者の意見を反映した返礼品のメニュー設定を行った。</li> </ul>																																								
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南会津町との友好都市や南会津町出身者で構成する「ふるさと南会津会」との交流事業で南会津町の観光PRを行い、交流人口の誘客に繋がった。</li> <li>・納付の際、寄付者からいただいたコメントやご意見により、現状把握に努めた。</li> </ul>																																								

### 【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友好都市でのイベントを中心に年間47回実施し、南会津町をPRすることができた。</li> <li>・メディア等で露出が増えたことやインターネットを活用し、広くPRを行った結果、寄付者が増加した。</li> </ul>
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何ですか？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く住民レベルの都市交流に結びつけられていない状況にある。また、ふるさと南会津会では核となるメンバーが高齢化しているため、若い人材が必要となっている。</li> <li>・現在の返礼品は季節の野菜を中心とした地域特産品と米が中心となっているが、さらに地域の魅力を伝えるための仕組みづくりを進める必要がある。</li> </ul>

### 【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け入れ体制の充実強化を図るとともに、自然を生かした観光資源の独自開発に取り組む。</li> </ul>						
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th>具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・友好都市との相互交流の強化</td> <td>鉄道利用のための二次交通利用促進等、交流人口の増加に繋がる取り組みを継続的に行う。また、雪という観光資源を活用したイベントも検討し、雪遊びの楽しさを南会津町の子供たちとともに交流できるよう取り組む。更にスポーツ団体等の相互交流についても働きかけを進めていく。</td> </tr> <tr> <td>・ふるさと南会津会々員の確保</td> <td>南会津町の特産品をPRし、南会津町を理解していただき、魅力ある事業を展開していく。</td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	・友好都市との相互交流の強化	鉄道利用のための二次交通利用促進等、交流人口の増加に繋がる取り組みを継続的に行う。また、雪という観光資源を活用したイベントも検討し、雪遊びの楽しさを南会津町の子供たちとともに交流できるよう取り組む。更にスポーツ団体等の相互交流についても働きかけを進めていく。	・ふるさと南会津会々員の確保	南会津町の特産品をPRし、南会津町を理解していただき、魅力ある事業を展開していく。
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策						
・友好都市との相互交流の強化	鉄道利用のための二次交通利用促進等、交流人口の増加に繋がる取り組みを継続的に行う。また、雪という観光資源を活用したイベントも検討し、雪遊びの楽しさを南会津町の子供たちとともに交流できるよう取り組む。更にスポーツ団体等の相互交流についても働きかけを進めていく。						
・ふるさと南会津会々員の確保	南会津町の特産品をPRし、南会津町を理解していただき、魅力ある事業を展開していく。						

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	都市交流事業	商工観光課	目的	都市間交流により相乗効果が得られるような交流事業の実現を目指す。				
			概要	友好都市等との地域間交流の推進を図る。				
			成果	地域間交流が進み、町民レベルでの交流の輪が広がった。				
		観光交流係	問題	これまでの交流を継続・発展させ、新たな地域間交流に繋がるような仕掛けづくりが求められています。町民レベルでの相互交流をさらに深める必要がある。				
			対策	町民レベルの交流を進めるため、友好都市と連携を図るながら事業を進めていく必要がある。				
			事業費	7,256	7,256	10,700	10,700	10,700
02	南会津農村生活体験推進協議会運営事業	商工観光課	目的	充実した農村生活体験を提供し、受入農家の所得向上と地域活性化に努めることを目指す。				
			概要	農村生活体験推進のための取組を支援する。				
			成果	受入農家の方々の事業への取り組み方が意識向上に繋がり、地域の活性化に貢献しています。				
		観光交流係	問題	受け入れ農家の確保が難しく広域連携により受け入れを行っている。				
			対策	事務局の専任職員配置に係る運営費の支援を行い、受け入れ農家の拡大等を図る。				
			事業費	7,650	50	10,400	0	10,400
03	ふるさと納税推進事業	総合政策課	目的	魅力ある地域づくりを推進し、本町を応援したいという気持ちと、納税したことによる満足感を得られるような取組を進め、本町のPRと応援者を増やす。				
			概要	幅広くふるさと納税を呼びかけ、本町の知名度向上と納税額の増加を図るとともに、寄附額に応じた特産品等を送付する。				
			成果	納税者及び納税額が年々増加しているとともに、継続して納入してくださる方が増えている。				
		企画政策係	問題	納税件数が増加するにつれ、事務処理に係る時間を要する。				
			対策	専門職員の増は現実的でないことから、アウトソーシングを検討する。				
			事業費	7,913	7,913	7,755	7,755	7,800
04	合宿誘致促進事業	商工観光課	目的	セールスキャラバンの展開や合宿団体の旅行経費の一部を助成することで、本町への合宿団体の誘致を促進する。				
			概要	本町に宿泊し、合宿を行う中学生から大学生を対象に、延べ宿泊者数に応じて助成金を交付し交流人口の増加を図る。				
			成果	合宿経費の一部を助成することにより、各団体の経済的負担を軽減することにつながり、延べ受入実績約9,000人を誘致することができた。				
		観光交流係	問題	合宿団体の宿泊先をいかに小規模宿泊施設に拡大していくか検討が必要であり、充実した受入実績が継続していることから、助成のあり方について再度検討が必要な時期を迎えている。				
			対策	教育旅行及び合宿の受入態勢及び事業内容の再構築を図る。				
			事業費	14,500	0	14,500	0	14,500
05	ふるさと南会津会運営事業	商工観光課	目的	本町の出身者等で構成する「南会津町応援団」である、ふるさと南会津会への運営支援				
			概要	会員間の交流事業や定期的な会員へのふるさと宅急便、町の旬の情報を提供する。				
			成果	第5回目の取組として首都圏で南会津に関心のある若い人を中心に、地酒イベントを開催し本町出身者以外の会員の獲得につなげた。				
		観光交流係	問題	コアメンバーが高齢化してきている。				
			対策	ふるさと南会津会の事業を通し、会員の増加に努める。				
			事業費	2,000	2,000	1,914	1,914	1,900
06	たかつえスキー場第2レストハウス建設事業	館岩総合支所振興課	目的	さいたま市中学生の冬期自然の教室受入拡大をはじめ、たかつえスキー場の誘客促進を図る。				
			概要	第2レストハウスの浄化槽・屋外排水管工事を実施した。(320人槽1基 排水管280m)※平成30年度の12月から供用開始				
			成果	友好都市であるさいたま市等のスキー教室の受入れ拡大をはじめとし、会津高原たかつえスキー場のさらなる誘客が期待ができる。また地元雇用創出の期待もできる。				
		企画観光係	問題	平成30年度で終了				
			対策					
			事業費	38,429	4,669	0	0	0
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			77,748	21,888	45,269	20,369	45,300	20,400